



平成26年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月6日

上場取引所 東

上場会社名 北興化学工業株式会社

コード番号 4992 URL <http://www.hokkochem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中島 喜勝

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 竹田 正雄

TEL 03-3279-5152

四半期報告書提出予定日 平成26年10月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年11月期第3四半期の連結業績(平成25年12月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第3四半期	32,976	14.4	1,837	446.5	1,803	289.9	1,060	403.4
25年11月期第3四半期	28,836	△0.6	336	40.8	463	737.4	211	—

(注) 包括利益 26年11月期第3四半期 1,112百万円 (18.8%) 25年11月期第3四半期 937百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第3四半期	38.45	—
25年11月期第3四半期	7.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年11月期第3四半期	40,606	15,388	37.9
25年11月期	41,462	14,499	35.0

(参考) 自己資本 26年11月期第3四半期 15,388百万円 25年11月期 14,499百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	4.00	—	4.00	8.00
26年11月期	—	4.00	—	—	—
26年11月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の連結業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,500	9.6	1,750	231.1	1,150	43.5	600	23.1	21.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年11月期3Q	29,985,531 株	25年11月期	29,985,531 株
② 期末自己株式数	26年11月期3Q	2,412,246 株	25年11月期	2,403,984 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年11月期3Q	27,577,406 株	25年11月期3Q	27,585,637 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想に関しましては現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や企業収益の改善に加え、設備投資が堅調に推移するなど緩やかな景気回復基調が続いています。一方で、物価が上昇傾向にあり、消費税率引上げの影響を受けた個人消費の回復が遅れているなど懸念材料も見受けられます。また、アメリカの量的金融緩和政策の段階的縮小や新興国経済の下振れリスクなどの波乱要因もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、自社開発製品の普及並びに既存製品の拡販や、新規受託の拡大を進めてまいりました。

当第3四半期の業績は、売上高が329億7千6百万円（前年同期比41億4千万円の増加、同14.4%増）となりました。利益面では売上高が増加したことなどにより、営業利益は18億3千7百万円（前年同期比15億1百万円の増加、同446.5%増）、経常利益は18億3百万円（前年同期比13億4千1百万円の増加、同289.9%増）、四半期純利益は10億6千万円（前年同期比8億5千万円の増加、同403.4%増）となりました。

報告セグメント別の概況は以下のとおりです。

〔農薬事業〕

農薬製品は、国内販売における流通在庫の減少などにより、水稲用除草剤、水稲育苗箱処理剤を中心に出荷が増加したことから、大幅な増収となりました。この結果、本セグメントの売上高は231億7千2百万円（前年同期比24億7千1百万円の増加、同11.9%増）、営業利益は8億3千1百万円（前年同期比5億7千4百万円の増加、同223.9%増）となりました。

〔ファインケミカル事業〕

ファインケミカル製品の販売は、樹脂添加剤、医農薬中間体、電子材料原料などの主力製品の受注が好調に推移したことにより、大幅な増収となりました。この結果、本セグメントの売上高は97億5千3百万円（前年同期比17億8百万円の増加、同21.2%増）、営業利益は10億円（前年同期比9億3千4百万円の増加、同1,428.2%増）となりました。

なお、第1四半期連結累計期間より、セグメント利益の算定にあたり全社費用の配賦方法を見直しております。これは、当期に新基幹システムを導入したことに伴い、業績管理方法の見直しを行った結果、従来配賦不能費用としていた全社費用を各セグメントに配賦することとしたものであります。この変更に伴い、前年同期のセグメント利益につきましても変更後の算定方法に組替えております。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は406億6百万円となり、前連結会計年度末比8億5千5百万円の減少となりました。これは、商品及び製品の減少が主な要因です。

負債の残高は252億1千9百万円となり、前連結会計年度末比17億4千4百万円の減少となりました。これは、短期借入金および未払費用の減少が主な要因です。

純資産の残高は153億8千8百万円となり、前連結会計年度末比8億8千9百万円の増加となりました。これは、四半期純利益の計上が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経営成績を踏まえ、平成25年11月期決算発表時（平成26年1月14日）に公表いたしました平成26年11月期の通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成26年10月6日）別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,022	1,651
受取手形及び売掛金	12,719	12,042
商品及び製品	9,695	8,634
仕掛品	205	317
原材料及び貯蔵品	3,354	4,192
繰延税金資産	670	649
その他	291	322
流動資産合計	27,955	27,809
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,673	4,363
機械装置及び運搬具(純額)	3,145	2,664
土地	776	776
その他(純額)	290	232
有形固定資産合計	8,884	8,035
無形固定資産		
ソフトウェア	27	542
その他	866	377
無形固定資産合計	893	920
投資その他の資産		
投資有価証券	2,759	2,935
繰延税金資産	623	574
その他	361	346
貸倒引当金	△12	△14
投資その他の資産合計	3,730	3,842
固定資産合計	13,507	12,797
資産合計	41,462	40,606

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,736	8,565
短期借入金	4,995	3,274
1年内返済予定の長期借入金	1,846	1,246
未払法人税等	152	727
未払費用	3,663	2,664
賞与引当金	—	188
その他	1,805	1,603
流動負債合計	20,196	18,267
固定負債		
長期借入金	2,944	3,304
退職給付引当金	3,531	3,480
資産除去債務	57	56
その他	234	112
固定負債合計	6,767	6,952
負債合計	26,963	25,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,214	3,214
資本剰余金	2,608	2,608
利益剰余金	8,250	9,090
自己株式	△997	△999
株主資本合計	13,076	13,913
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,233	1,283
繰延ヘッジ損益	15	5
為替換算調整勘定	175	187
その他の包括利益累計額合計	1,423	1,475
純資産合計	14,499	15,388
負債純資産合計	41,462	40,606

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)
売上高	28,836	32,976
売上原価	22,543	25,044
売上総利益	6,293	7,931
販売費及び一般管理費	5,957	6,094
営業利益	336	1,837
営業外収益		
受取利息及び配当金	59	117
為替差益	289	36
受取手数料	109	101
その他	71	64
営業外収益合計	527	319
営業外費用		
支払利息	155	127
たな卸資産廃棄損	118	128
その他	127	98
営業外費用合計	400	353
経常利益	463	1,803
特別利益		
固定資産売却益	3	1
投資有価証券売却益	30	—
事業譲渡益	—	42
特別利益合計	33	43
特別損失		
固定資産除却損	49	14
その他	0	—
特別損失合計	49	14
税金等調整前四半期純利益	446	1,833
法人税等	236	772
少数株主損益調整前四半期純利益	211	1,060
四半期純利益	211	1,060

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	211	1,060
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	425	51
繰延ヘッジ損益	△7	△10
為替換算調整勘定	309	11
その他の包括利益合計	726	52
四半期包括利益	937	1,112
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	937	1,112
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	農薬事業	ファインケ ミカル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,701	8,044	28,746	90	28,836	—	28,836
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	275	275	△275	—
計	20,701	8,044	28,746	365	29,111	△275	28,836
セグメント利益	256	65	322	14	336	—	336

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 平成25年12月1日開始の連結会計年度より、セグメント利益の算定方法を変更したことに伴って、前第3四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)のセグメント利益を変更後の算定方法による数値に組替えて表示しております。これにより、従来の算定方法によった場合に比べて、セグメント利益が、農薬事業において343百万円、ファインケミカル事業において150百万円それぞれ減少しております。算定方法の変更内容につきましては、「II. 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年12月1日 至 平成26年8月31日) 2. 報告セグメントの変更等に関する情報」をご覧ください。

II. 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年12月1日 至 平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	農薬事業	ファインケ ミカル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,172	9,753	32,925	51	32,976	—	32,976
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	342	342	△342	—
計	23,172	9,753	32,925	393	33,318	△342	32,976
セグメント利益	831	1,000	1,830	7	1,837	—	1,837

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

第1四半期連結累計期間より、全社費用の配賦方法を見直しております。これは、当期に新基幹システムを導入したことに伴い、業績管理方法の見直しを行った結果、従来配賦不能費用としていた全社費用を各セグメントに配賦することとしたものであります。

この変更に伴い、前年同期のセグメント利益につきましても変更後の算定方法に組替えております。組替え後の数値につきましては、「I. 前第3四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年8月31日) 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。